

がん遺伝子パネル検査の種類

【がん遺伝子パネル検査（保険診療）】

OncoGuide™NCC オンコパネルシステム（腫瘍組織が必要）

国立研究開発法人国立がん研究センターとシスメックス株式会社が共同開発した遺伝子パネル検査です。日本人のがんで多く変異が見られる遺伝子 114 個について、次世代シーケンサーを用いて 1 回の検査で調べることができます。

FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル（腫瘍組織が必要）

固形がんに関連する包括的遺伝子解析プロファイリング情報を提供する検査として、米国食品医薬品局（FDA）が初めて承認したもので、保険適用の検査として国内展開をしているがん遺伝子パネル検査です。本検査では、がんに関連する 324 の遺伝子の変異に加え、腫瘍の遺伝子変異量（Tumor Mutational Burden : TMB）やマイクロサテライト不安定性（Microsatellite Instability : MSI）などを検出できます。

上記のいずれの検査も、3 年以内に採取された、5mm x 5mm 大サイズの腫瘍組織が検査に必要となりますが、内視鏡的鉗子生検までは採取数や採取した腫瘍含有量によっては可能です。

検査費用 検体を準備する日（検査同意日）8,000 点（3 割負担で 24,000 円）

医師から検査の結果説明を受けた日 48,000 点（3 割負担で 144,000 円）

【がん遺伝子パネル検査（自由診療）】

ミライ S 検査（腫瘍組織が必要）

当院では、がんゲノムプロファイリング検査として、がんの患者様のがんに関連する約 50 の遺伝子を網羅的に解析する「ミライ検査」を実施しています。

検査費用：38,500 円（病理標本品質検査料*）+ 401,500 円（本検査）（税込）

*病理標本品質検査とは、病理検体（パラフィンブロック）から抽出された DNA の断片化の程度が、本検査で必要とされる許容内であるかを調べる検査です。

MSK-IMPACT（腫瘍組織が必要）

MSK-IMPACT™は、米国のがんセンター“Memorial Sloan Kettering Cancer Center”（MSK）にて開発された腫瘍プロファイリング検査です。一度の検査で、468 のがん関連遺伝子を網羅的に調べることができます。検査費用（変異解析ならびにレポート込）：865,920 円（税込）

Guardant360（血液のみで可能）

米国 Guardant Health 社が開発した高感度な遺伝子解析技術 Guardant360（R）アッセイを用いに関連した 74 遺伝子を調べます。上記の検査と異なり、血液のみで検査可能です。検査費用：430,100 円（初回税込）、322,300 円（二回目以降）。